

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	情報リテラシー（プログラミング）I	配当学年	1
講義名（コード）	プログラミング初心者でも安心Python/Django入門講座	単位数	2
対象学科	GB	時間数	30
対象コース	DB	講義期間	春学期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	鈴木 祥夫	授業形態	講義
成績評価教員	鈴木 祥夫	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	本講義は、実務家教員による授業である。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	1年の前期及び後期でPythonによるプログラミングをおこない、プログラムとはどのようなものか実体験として理解する。
到達目標	Pythonを使用し、簡単なプログラムが作成できるようになる。
全体の内容と概要	スライドを使った講義を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	Windows上にPythonを導入して実行する。
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	講師	授業内容
1	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	講師紹介とコース概要、プログラミングを学ぶ意義 プログラムとは Python Install(実習)
2	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	Pythonに触れてみる(実習) 変数と代入(コンピュータの計算の進め方)
3	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	変数 練習問題
4	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	型と算術演算
5	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	モジュールの利用 練習問題
6	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	条件分岐(実習) ファイルとPGMの実行、コメント、INPUT関数、インデント
7	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	条件分岐(実習) 条件分岐と論理演算子
8	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	条件分岐(実習) 条件分岐の練習問題1
9	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	条件分岐(実習) 条件分岐の練習問題
10	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	繰り返し(実習) forを使用した繰り返し1
11	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	繰り返し(実習) forを使用した繰り返し2
12	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	繰り返し(実習) forを使用した繰り返し3
13	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	繰り返し(実習) whileを使用した繰り返し1
14	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	繰り返し(実習) whileを使用した繰り返し2
15	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	期末評価

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	